グローバルな視点から社会や地域の課題を探究する
～グローバル教育発表会～

令和２年２月１日（土）、国際総合科グローバル教育発表会・ミッキーフェスティバルを開催しましたところ、保護者の皆様、地域の皆様にはお忙しい中ご来場いただきありがとうございました。また、アンケートでは貴重なご意見ありがとうございました。

（校長挨拶から抜粋）

本校、国際総合科の生徒たちが、グローバルな視点から社会や地域に目を向け、課題や問題を発見し、その解決に向けて高校生としての知恵を絞りました。今日はその成果を発表いたします。

これからの社会では、与えられる知識をおぼえる、暗記するという記憶中心の勉強だけではなく、自ら課題やテーマを設定して、「読む、聞く、調べる、分類する、比較する、分析する、考察する、そしてその結果を発表する」という学習活動を行い、興味関心を深め、課題意識を持って自ら積極的に、より深く学ぶことが求められています。

生徒たちは、フィールドワークとして、夏休み中に市内の企業や三木市役所を訪問してお話を聞かせていただきました。ご協力いただきました各事業所、三木市各部署の皆様にはこの場をお借りして厚くお礼申し上げます。

伝えたいことを自分の言葉でまとめて、他の人にわかってもらうように伝えるのはとても難しいことです。２年生は、それを英語で行いますので、さらに難易度が上がります。練習の様子を見ましたが、本当によくがんばっています。各発表の後には皆様からの質問の時間を設定しておりますので、質疑応答による対話をとおして、発表した生徒たちを応援していただきますようお願いいたします。皆様からの素朴な疑問が生徒たちの学びを深めます。何でも聞いてやってください。生徒たちが、今回の経験を糧にして一回り大きく成長してくれることを期待しています。

（校長　高橋 信之）

当日ご参加いただいた保護者・地域の方からのご意見　～アンケートから抜粋～

- 三木市の課題であるテーマを掘り下げて発表するというとても良い機会になっていた。
- 外国との文化の違いを様々な視点から見られて良かった。
- 的確で幅広いテーマに問題意識を持ち取り組んだことが分かり、感動した。
- 高校生がこんなに上手にプレゼンテーションができることが分かり、参加して良かったと思う。
- どんな質問にも答える対応力があった。
- 日本語の発表も英語の発表もとても分かりやすかった。
- 英語で発表している姿が格好良かった。
- 英語のプレゼン力が昨年より大きく向上している。
- パワーポイントが非常にわかりやすい。
- 距離が近くて聞き取りやすく、質問もしやすかった。
- 受け身の授業ではなく、このような発表・意見交換の時間がすばらしい。